

第1章

パソコンの基礎知識

この章では「キー入力練習ソフト」を使ってキー入力練習を始める前に、知っておいた方がよいパソコンの基礎知識を学習します。

1. パソコンの基本構成

(1) パソコンシステム

一般的なパーソナルコンピュータ（パソコン）は、図1-1に示すようにパソコン本体、ディスプレイ、キーボード、マウス及びプリンターにより構成されています。

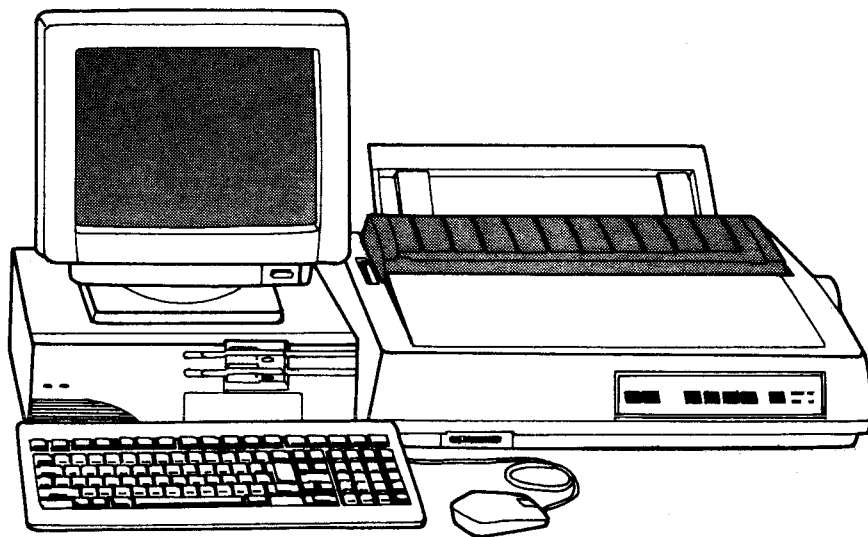


図1-1 パソコンの基本構成

① パソコン本体

図1-1の中でパソコン本体は、どれでしょうか?! …… 実は、図1-2の部分が、パソコン本体なのです。

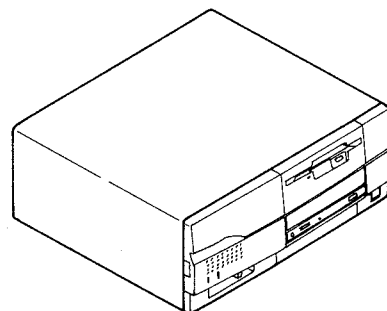


図1-2 パソコン本体

② ディスプレイ

簡単にいえばテレビです。ブラウン管に、文字や図を映し出しています。“モニタ”とも呼びます。

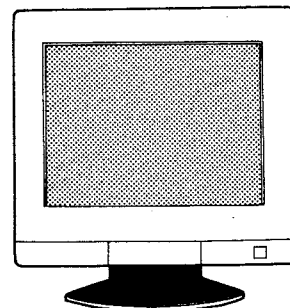


図1-3 ディスプレイ

③ キーボード

パソコンにデータを入力したり、命令を与えるものです。

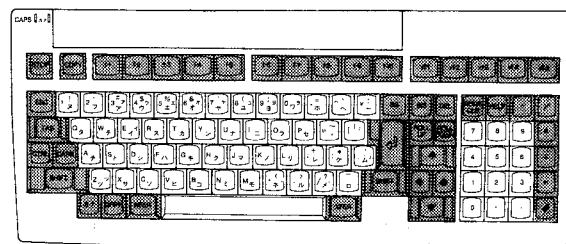


図1-4 キーボード

④ マウス

マウスは、その形がネズミに似ているので“マウス”と名付けられました。キーボードをタイプするかわりに、マウスを机の上で動かして、機能を選択するときなど、思った場所にすばやく移動ができてとても便利です。

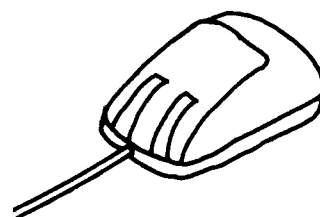


図1-5 マウス

⑤ プリンタ

プリンタは、入力した文書やデータベースの印刷をするもので、ビジネスには、欠かせないものです。

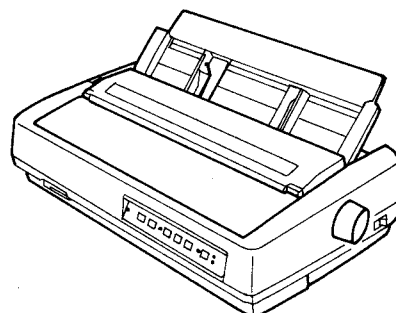


図1-6 プリンタ

(2) パソコン本体各部の名称と役割

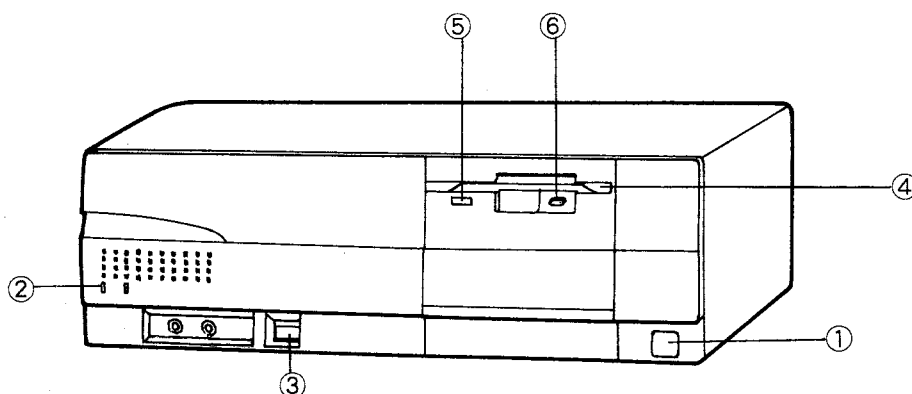


図1-7 本体各部の名称

① 電源スイッチ

本体の電源をON/OFFするスイッチです。1回押すと電源ON（電源表示用LED点灯）、もう1回押すと電源がOFFになります。

② 電源表示用LED

電源ON/OFFの状態を表示するランプです。電源がONになると、LEDが点灯します。

③ リセットスイッチ

本体の電源をOFFしないで、はじめて電源をONにした直後の状態（初期状態）に戻すためのスイッチです。

④ フロッピーディスク装置

フロッピーディスクを差し込み、プログラムやデータの読み込み・書き込みを行うための装置です。

⑤ フロッピーディスク装置アクセス用LED

フロッピーディスクの作動中に赤く点灯します。

⑥ イジェクトボタン

フロッピーディスクをフロッピーディスク装置に出し入れするときに使います。

2. フロッピーディスクの種類と取扱い

フロッピーディスクは、入力したデータを書き込んで保存したり、プログラムをコピーしたりする、コンピュータのノートやメモのようなものです。

フロッピーディスクは、音楽のテープと同じように磁気を利用して情報を記憶する円盤状の磁気シートとそれを保護するジャケットで構成されているので、フロッピーディスク（薄っぺらな円盤）と呼ばれています。

(1) フロッピーディスクの種類

フロッピーディスクの種類は図1-8のようなものがあります。

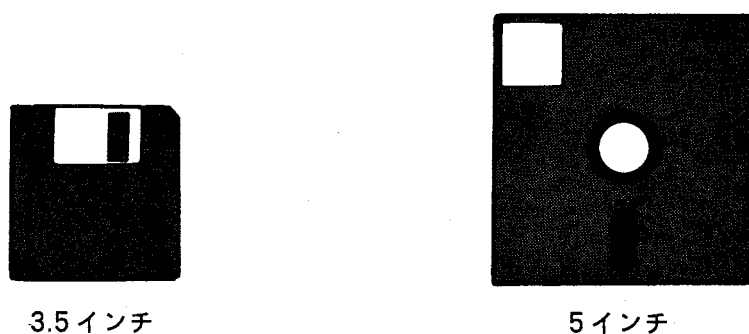


図1-8 フロッピーディスクの種類

(2) フロッピーディスクの挿入方法

フロッピーディスクをラベルの貼ってある面を上向きにして、ラベルが手前になるように持ち、フロッピーディスク装置にカチッと音がするまで差し込みます。この時3.5インチフロッピーディスクの場合は、イジェクトボタンが自動的に少し手前に出て、フロッピーディスクがロックされます。5インチフロッピーディスクの場合は、イジェクトボタンをゆっくりと押しフロッピーディスクをロックさせます。

(3) フロッピーディスクの取出し方法

フロッピーディスク装置アクセス用LEDが点灯していないことを確認してから、イジェクトボタンを押し、フロッピーディスクを取出します。

(4) フロッピーディスクの取扱い

フロッピーディスクは、入力したデータを記憶しておくとても大切なものです。また構造的にも非常にデリケートにできているので、図1-9を参考にして、大切に取り扱い扱って下さい。

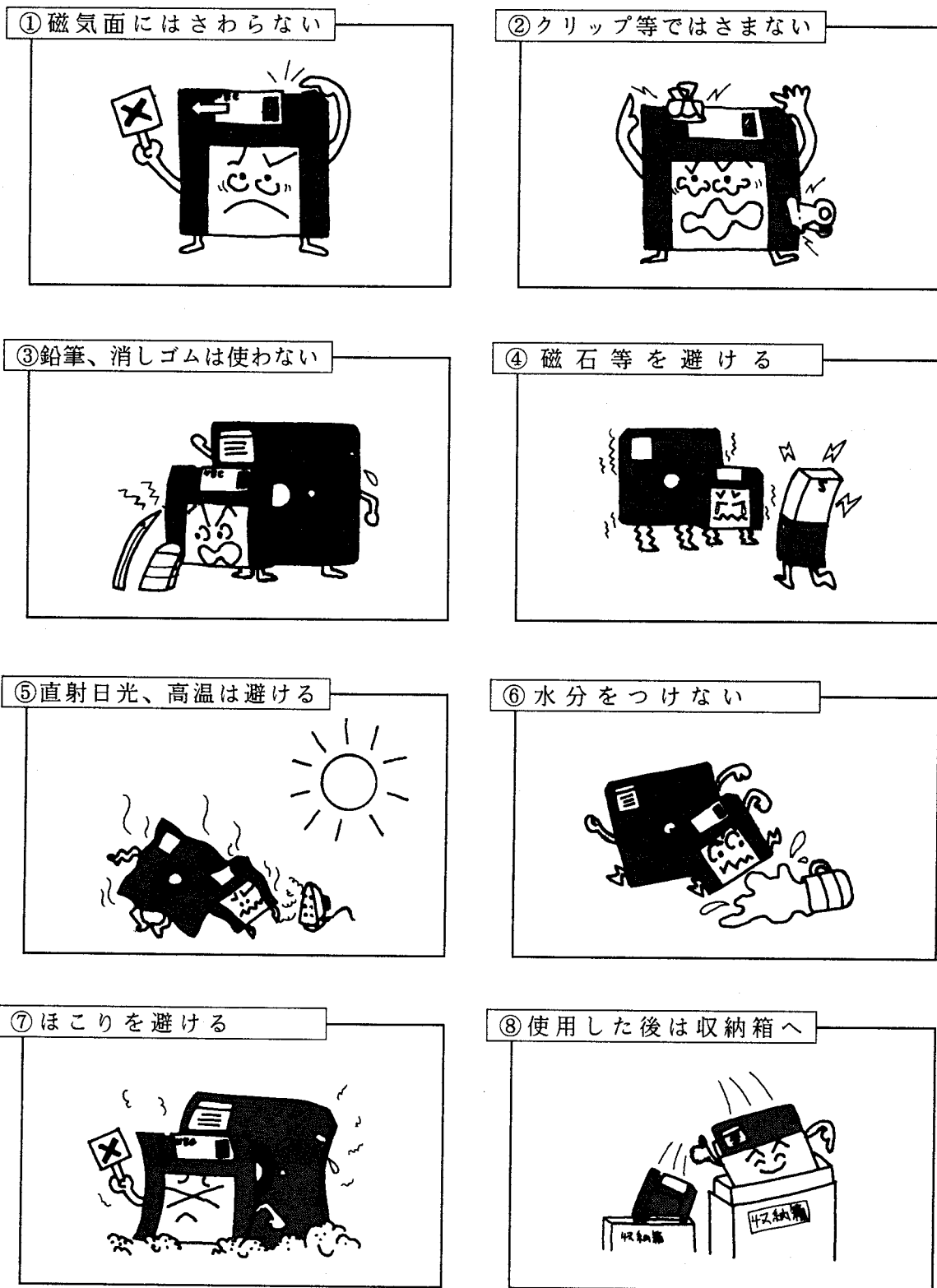


図1-9 フロッピーディスク取扱い上の注意

3. キーボード

キーボードは、パソコンを利用するためには不可欠な存在です。私たちが、パソコンを利用するためには、どうしてもキーボードを使ってデータを入力したり、命令を与えなければいけません。

キーボードをうまく使うこと（正確なタイピング）は、パソコン操作の上達の「コツ」です。

(1) キーボードを打つときの姿勢

キーボードを打つとき一番大切なのは、椅子とキーボードの高さの関係と正しい姿勢です。姿勢を正しくすることが、楽をして上達する早道です。

背中を伸ばして、楽な姿勢で椅子に座ります。このとき、足を軽く床につけます。また、片足を少し前に出すととても楽です。椅子の高さを丁度よいように調整しましょう。

図1-10と図1-11を参考に正しいキーボードの位置と姿勢をつかんで下さい。

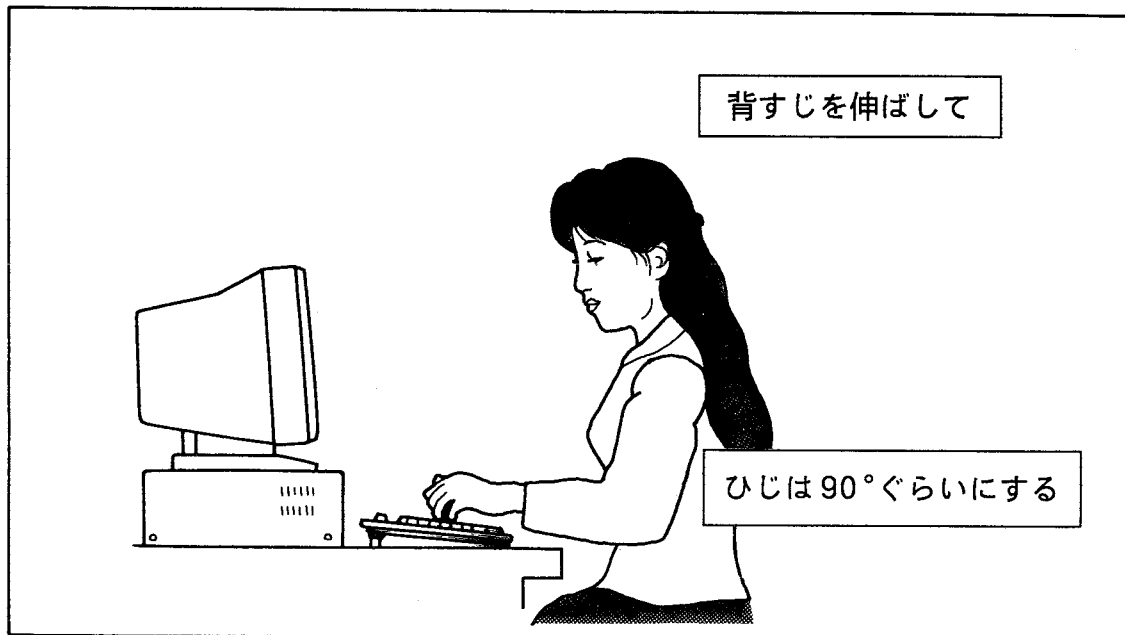


図1-10 キーボードを打つときの正しい姿勢

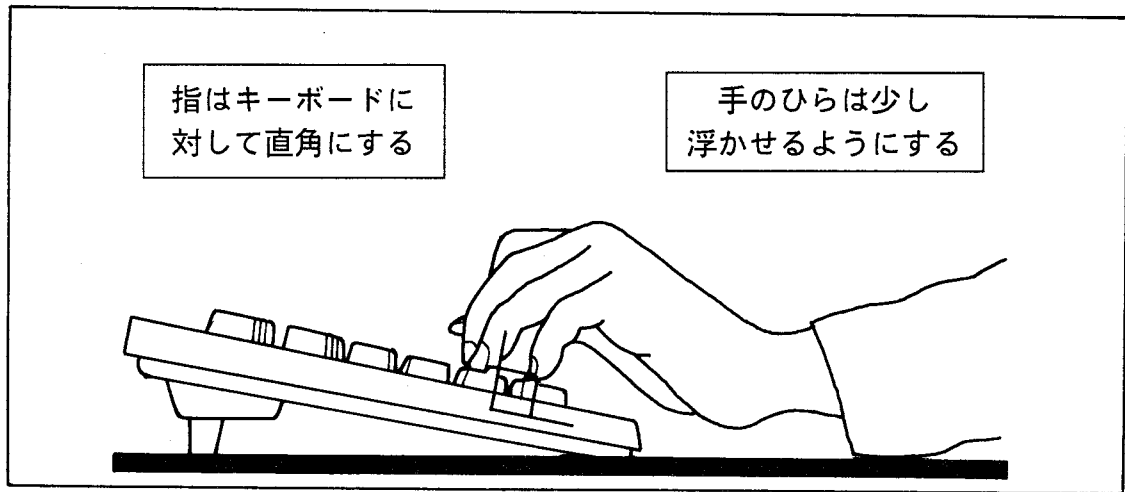


図1-11 正しい打ち方

(2) キーボードの配列

キーボード（標準JISキーボード）の配列は、図1-12のとおりです。

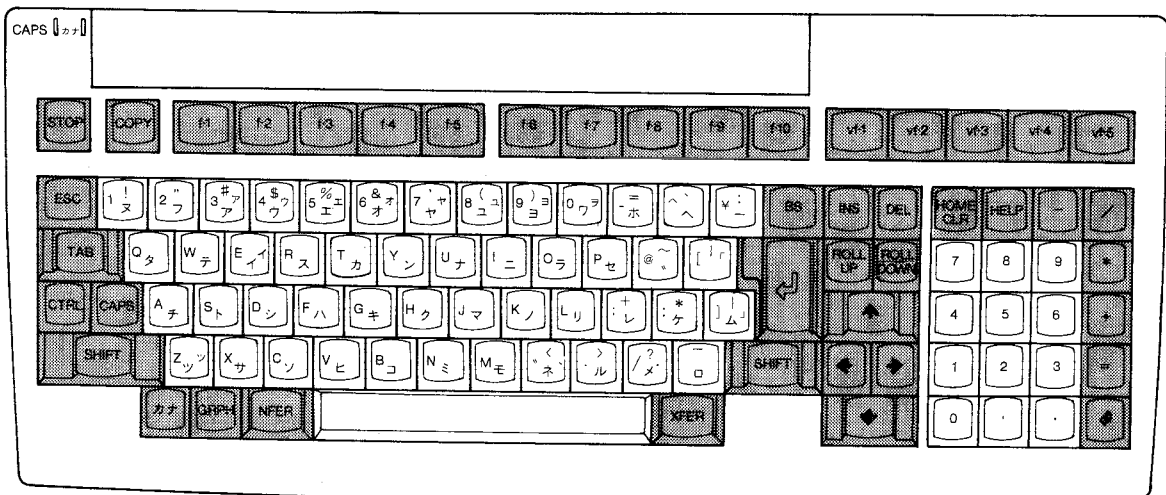


図1-12 標準JISキーボード